

第121回宇宙政策委員会 国土交通省資料

令和8年1月21日(水)

令和8年度当初予算額 188億円 (内数のものは含まず) + 事項要求
 令和7年度補正予算額 120億円 (内数のものは含まず)

国土交通省では、宇宙基本計画に基づき、無操縦者航空機の運用、静止気象衛星の運用・整備及び災害時の被災状況の把握・インフラメンテナンスへの活用等、国土交通分野への衛星測位や衛星データ等の利活用に向けた取組を推進している

(1) 宇宙安全保障の確保

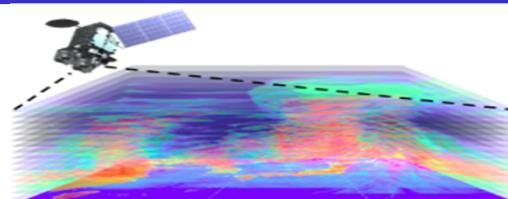
- 宇宙安全保障のための宇宙システム利用の抜本的拡大 [R8当初 129億円、R7補正 3億円]
 - ・ 各種商用衛星等の利活用
 - ・ 無操縦者航空機の運用等

(2) 国土強靭化・地球規模課題への対応とイノベーションの実現

- リモートセンシング [R8当初 32億円、R7補正 59億円]

<静止気象衛星の運用・整備>

- ・ 静止気象衛星ひまわりの運用、次期静止気象衛星の整備等

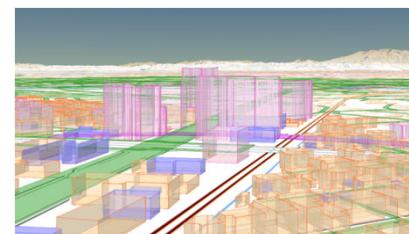


3次元観測イメージ
(大気の立体的構造)

<災害時の被災状況の把握やインフラメンテナンス>

- ・ 人工衛星の活用による土砂災害・浸水域の早期把握
- ・ 人工衛星を活用した道路管理
- ・ 衛星を活用した港湾海象情報のデジタル化・高度化
- ・ リモートセンシング技術による定量的な変位把握と施設の利用可否判断の実現

- ・ 人工衛星を活用した海岸線モニタリングに関する研究
- ・ 上下水道DXの推進



3次元地図

<国際展開>

- ・ 宇宙技術を活用した水害リスクマップの国際展開

- 準天頂衛星システム [R8当初 24億円、R7補正 51億円]

- ・ 衛星位置情報の安定的な生成及び提供
- ・ 自動運転の実現に資する地殻変動補正情報の高度化
- ・ 3次元地図の整備及び3次元点群データの整備・更新
- ・ 準天頂衛星及びGPSを活用した無人車両技術の空港運用への導入促進

- 衛星開発・利用基盤の拡充 [R8当初 1億円]

- ・ 国際連携・海外展開等推進経費(電子基準点網の海外展開)